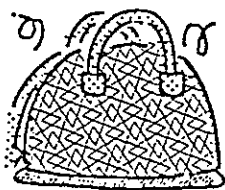


ベンティンゲ
セーリング終了
去る3月20日、21日に昨年11月に取り外したセーリングを多数のボランティアの方々の協力を得て、再び取り付けました。
20日はフオアマストから順番に横帆を取り付け、点検を兼ねてマスト一本ずつ展帆していきまし
た。
メインマストには昨年暮れからボランティアの方々が作製したロイヤルが取り付けられ、展帆されたロイヤルに、ボランティアの方々から、大きな拍手がわきました。21日にはボランティアの方々が各マストごとに分かれて、縦帆を取り付けました。ミズントップマストステイスルは同じくボランティア作製のもので、「富山ボランティア作製」の文字が記入されたものです。
すべての帆を取り付けた海王丸は、4月29日を始めに9回の総帆展帆を行う予定です。

ボランティニア
送別△△が開かれました
春は移動のシーズンですが、ボランティニアの中にも転勤などで富山を離れる方がいます。
今回、第1次ボランティニアの桑原竹子さんが青森県のほうへ、第2次ボランティニアの丹羽美恵子さんが愛知県に転居されました。去る3月25日(木)にボランティニア有志の方々が集まって、おふたりの送別会を、新湊市の「磯正すし」で行いました。
会には40名近くのボランティニアが集まり、おふたりの今後の活躍をお祈りしました。



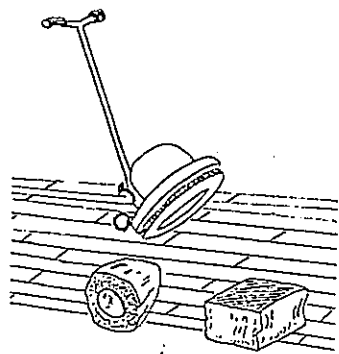
「海王丸タイムス」の (仮称)「」の名前が決まる。

「海王丸タイムス(仮称)」の名前を募集しました。ボランティニアの皆さんの人気投票の結果、本号の名前と決定いたしました。

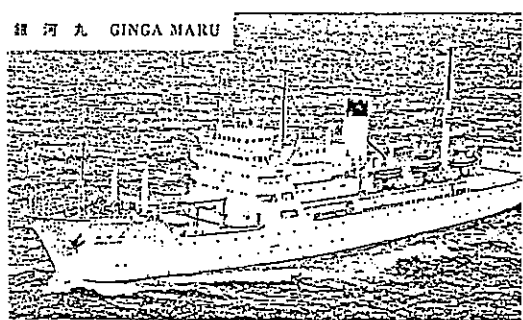
- 投票結果
- | | |
|---------|-----|
| 舵輪 | 52票 |
| SKIP | 33票 |
| 船気楼 | 17票 |
| 海王丸タイムス | 3票 |
- ちなみに応募された方々は以下の通りです。
- | | |
|---------|----------|
| 舵輪 | 横田 叶雄 さん |
| SKIP | 惣田 照夫 さん |
| 船気楼 | 高橋 勝美 さん |
| 海王丸タイムス | 業務課 |

海王丸の化粧直し
海王丸は2月末から3月末までは、閉館して船体整備等をおこなっていました。
船体整備は、古くなったワイヤ類、ブロック類、フットロープの新替えなど、一般公開中は行えないような作業です。これらの作業は、高所作業となるため、晴れた日に業務課全員で行いました(総帆展帆の時にどのギヤが新しくなったか見て下さい)。雨の日は、甲板の汚れを落とすためのポリシャ掛けを行いました。海王丸が現役だった頃は、一年中、100名近くの学生が毎朝、ホリーストーンや椰子で磨いていたものです。今は一般公開や北陸の天候等で、現役の時のような甲板の輝きを維持するのは難しいのですが、業務課員一同、甲板は船の顔と思つてきれいにしました。

またハンドレールやピンレール(ビレイピン)がついたっている部分)等も、小雪の混じる中、きれいに石摺りをしました。この作業も、現役だった頃は、外地入港前や、内地帰港前に、実習生全員で炎天下、上半身裸で行つてきた作業です。(ボランティニアの方もいつかやってみませんか。)
そして4月初旬からは、冬の雪で汚れた船体外板の総塗装が始まり、4月29日には装い新たに、総帆展帆を行うことができます。



「銀河丸入港」
4月19日には、運輸省航海訓練所の汽船練習船銀河丸が富山(岩瀬地区)に予定)に入港します。(残念ながら一般公開は行いません。)
銀河丸は運輸省の練習船として、唯一、世界一周の実習航海を行う船です。今回は、帆船実習を終了した商船高専の実習生を乗せて日本列島1周の途中、富山に寄港するものです。
一等航海士として、米原前業務課長が乗船しています。
停泊期間は4/19~4/23の予定です。



技術講座第2回 船中の

5月5日の総帆展帆日の午後、第1研修室において、「ボーン岬への航海」というスライドを上映します。これは今世紀初頭の大型商用帆船の航海の様子を、素朴な線画で描いたもので、当時の船内生活の様子を海王丸でそれと比較しながら、チヨッサーが説明いたしますので、奮って参加下さい。
なお4月29日の今年度第1回の展帆日の午後は、久しぶりにお集まりいただくこともあり、ボランティニア同士のカタフリの時間にしたしたいと思います。

シリウス

「海の大盗団」
第3回目は、船乗りに限らず皆大好きな、お酒に関する話です。帆船華やかなり頃は、船内での飲酒は原則として禁止されていましたが、イギリス海軍では水夫のリフレッシュのため、時間を決めてラム酒を配給していたそうです。ところが「承知のとおり、この酒は火酒と呼ばれるほど強い酒であつたため、この酒が原因での犯罪や軍紀違反が多発し、艦長以下大要苦勞していたようです。
そこで1740年のこと、当時西インド諸島海域(カリブ海付近)艦隊司令官であつたバロン提督(いつも「grog」という縮と毛との粗い混織布でできた外套を着ていたため、「old grog」というあだ名で呼ばれていた)は、ラム酒を水で割つて水夫に飲ませる方法を発案しました。すなわち、ラム酒半パイントを2パイントの水で割り、これを午前10時と正午との間、また午後4時と6時の間、毎日2回に分けて、当直将校の監督のもとに配給させました。



もともとあだ名をつけることに関しては天才的な才能を発揮する水夫達は、さつそく grog の「grog」をラム酒の「rum」にかけて、この新考案の酒をグログ(grog)と呼ぶことにしたそうです。
このようにしても酒の上でのトラブルはなくなつたようであつたので、足元がふらつくことを意味するグロッキー(groggy)も、このグログ酒を飲み過ぎた様子に語源があるようです。
折しもお花見のシーズン。くれぐれもグログ酒を飲み過ぎた水夫の手を握りませんように!

私、待つておりました。

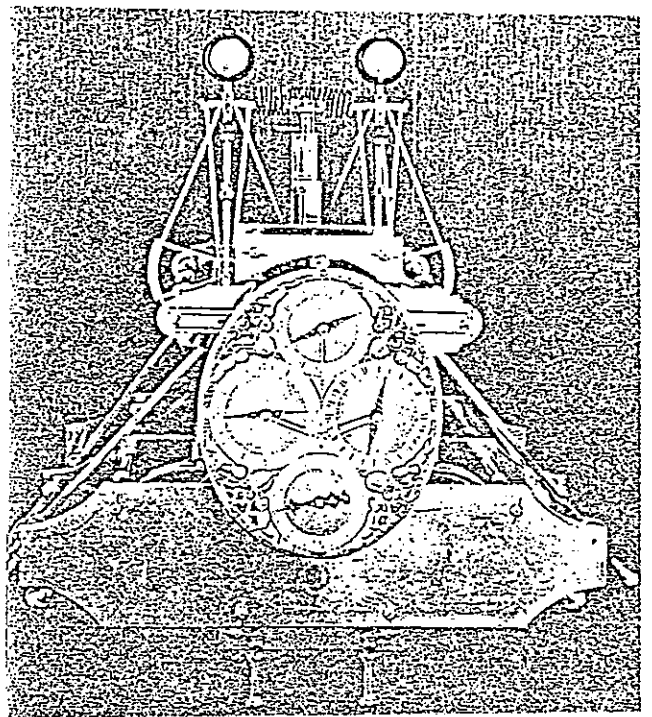
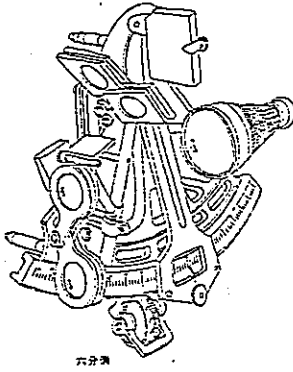
…第2弾…
(いつかお役にたてる日を!)
好評を頂いております(???)
のコーナー、今回取り上げる航海
計器は皆様もお馴染みの「時計」
についてお話しします。

さて船の上ではこの時計の事を
「クロノメーター」と呼んでおり
ます。この名前の由来は、ギリ
シア神話にて「時の神様」
クロノスからきているそうです。
ところで、皆さんは、どうして
船が、何も目標物のない太平洋を
横断して、正確に目的地に到達で
きるのか不思議に思った事はあり
ませんか?

現代では、車にも人工衛星を利用
して常に自分の位置を把握できる
便利な機械が市販されており、
我々、船乗りにしてみれば、目
標物や道路標識の十分な地上には
驚沢な代物のように感じます。

皆さん、ご覧になられたでしょ
うか、映画『コロンブス』のワン
シーンに、出帆して陸地から遠く
離れてしまい不安がる船長に、彼
が北極星の高度を測って見せ、掃
り北極星が同じ高さに見える所
をひたすら東に進めば、掃れる事
を論ずるシーンがありました。

そうです、昔の船乗りは北極星
をおおいに利用しておりました。
今日でも遠征船の遠洋航海では
星の見える時の天体観測では条件
の良い時には、北極星の高度を六
分儀で測定し、自船の位置決定に
利用しています。



4つの文字盤をもつ時計
イギリスの初代のクロノメーター。有名な時計師ジョン・ハリソンが1735年
につくった第1号の航海用時計で、彼がつくった五つのうちの一つです。4
つの文字盤は上が時、左が分、右が秒、下が日とします。

さて、話がだいぶ「時計」から離
れてしまいました。この自分の
位置を決める為には、どうして
正確な時計が必要なのでしょう。

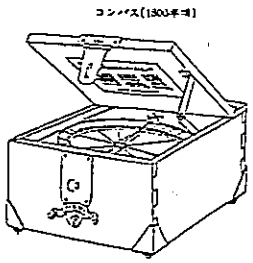
洋上では、自船の位置は、緯度
と経度で表します。緯度は前に述
べました様に、北極星の高度でわ
かります。ところが、経度には正
確な時計がどうしても不可欠な
です。ここで仮に、子午線(経度
線)ゼロの地点から一隻の船が、
西に向けて出帆したとします。こ
の船にはこの土地の時間に合わせて
正確な時計が備えられています。

船は、ほとんど陸地から遠くか
り、しまいに海が深くなり、航
海士は、正午近くになると何度も
太陽の高度を測り、一番高くなっ
た瞬間(南中)を記録します。

そのときの正確な時刻を備えた時
計で読み取ります。もしその時計
が三時ちょうどを指していたとす
れば、船は子午線ゼロの出発地か
ら西に三時の地点にいることにな
ります。地球は24時間で、3
60度回転しますから、1時間に
15度進むことになり、三時間
では45度進むのです。このよう
に、現在の時刻と緯度の差を、四
分儀の目盛で読み取ります。

かなり大ざっぱですが、これで
おおまかな自分の位置はわかっ
てくるはず。そこで、1714
年にイギリス議会は正確な時計を
発明した者に2万ポンドの賞金を
出すことに決めました。これに
応募したのが家具屋のジョン・ハ
リソンです。1761年に完成し
た彼のクロノメーターは、6週間
にわすから秒しか狂わなかったそ
うです。

この時計のおかげで、冒険者達
は、さらに遠くへ航海を続けられ
無事に本国に帰国できたのでした。
さあ、改めて「自分の時計を見
つめ直してみてください。

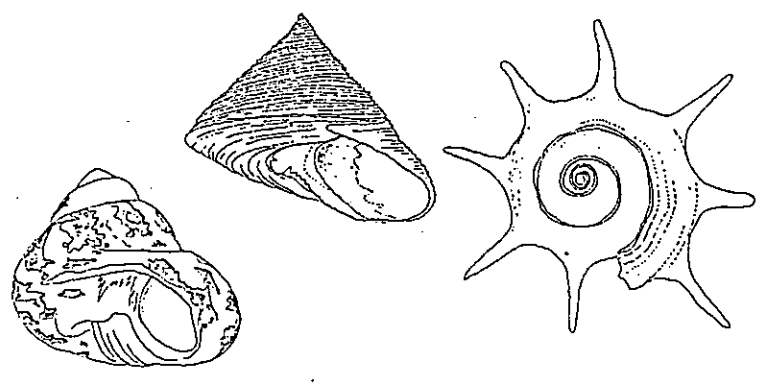
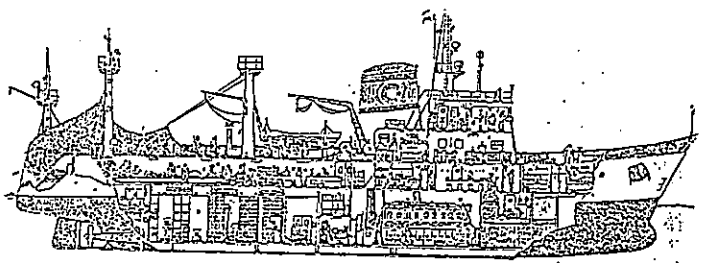


ボランティニアからの
挨拶

「レッコ」の話
先日、私の会社へ働きにきて
いるおとつあんが、休憩時間に
仕事で使い終わった空きカンを見
て、「この空きカンをどうするの。」
と聞いてきました。

聞かれた私は、何気なく「ぼっ
ぼる」と答えたのです。するとお
とつあんが「レッコ?」と言っ
てはありませんか。

私は「今、レッコ」って言いま
せんでした?と問い返したのです。
よくよく聞いてみれば、もとは
遠洋漁業の船に三、四十年のついで
たそう、それまではどつかの知
らない、おとつあんも口もく
すっぽきかない人でしたが、「レ
ッコ」の一言から意気投合、お友
達になってしまいました。
…チャンチャン。
…二上さんより



あとがき
海王丸が富山にやってきて4回
目。そして新しい海王丸パークに
係留されて最初の春を迎えました。
その間に、総帆展帆を中心にと
多くのボランティニアの方々に海王丸
に親しんでいただけてきました。
また、晴れた土、日曜日にはか
なりの数の見学者が訪れ、海王丸
も富山の風景に溶け込んできたよ
うな気がします。

そしてボランティニア間の交流も、
海王丸以外のことも、かなり盛
んに行われているように聞きます。
ボランティニアの集団としては、
富山県内では最大規模となった現
在、富山県近郊の海や船に関心
のある方の交流の場を、海王丸を
通して少しでも提供できれば、と考
えております。

4月29日の総帆展帆も、もう
間近です。ことしも海王丸をよ
ろしくお願いいたします。